

運用は楽に、
セキュリティは強く。

ルールが自然に機能する

脆弱性対策

AeyeCopilot



すべての組織に不可欠な脆弱性管理と、その課題

サイバー攻撃の多様化・高度化が進み、顧客・社会からのセキュリティ要求が高まる現代において、脆弱性管理は、もはや任意の取り組みではなく、**事業維持のために不可欠なプロセス**に



サイバー攻撃による
被害の最小化と早期復旧



コンプライアンス遵守
信頼性の維持

わかっているのに進まないのは、なぜ？

Excel／スプレッドシートを使い、
セキュリティ部門の限られたリソースで何とか対応している



運用管理の煩雑化・属人化が深刻な課題に

「人」ががんばるセキュリティマネジメント、運用上の「限界」

中でも、複数部署が関わる“**デジタル資産の脆弱性管理**”は、特に運用が難しい・・・

運用管理の煩雑さ



- 複数の部署や担当者が関わるため、最新状況や次のアクションが曖昧になりやすい
- 棚卸や更新管理が徹底されていないケースが多く、脆弱性を把握・追跡すること自体が困難

コミュニケーション不足



- セキュリティ部門と現場の間で情報共有がスムーズに行われない
- 脆弱性が抱えるリスク・対応依頼が伝わりにくく、対応が後手に回るリスクがある

知識や経験の属人化



- 特定の担当者しか把握していない設定や運用方法に依存している
- 担当者の異動・退職でノウハウが失われ、脆弱性対応が継続的に行えない

セキュリティマネジメントプラットフォーム

AeyeCopilot なら

人に依存する課題をシステムで“仕組み化”

実績あるクラウド型Webアプリケーション脆弱性診断ツールを基盤とするクラウドサービスです



クラウド型Webアプリケーション
脆弱性検査ツール

国内市場シェア

No.1



有償契約
300社以上



※ 富士キメラ総研調べ「2025 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 市場編」Webアプリケーション脆弱性検査ツール ベンダーシェア（2024年度実績）

※ ITR調べ「ITR Market View：サイバー・セキュリティ対策市場2025」SaaS型Webアプリケーション脆弱性管理市場：ベンダー別売上金額シェア（2023年度実績）

| AeyeCopilotで実現できること

人手による脆弱性管理で煩雑になりがちな部分を、**生成AIを活用した自動化・仕組み化**で支援

脆弱性管理プロセスをシステムで自動化・仕組み化



進捗管理や情報共有の課題を解決！

診断プロセス効率化

診断案件をサイト・アプリ単位で管理し、各プロジェクトの進捗状況をリアルタイムに可視化

AeyeCopilotの導入で実現できること

サイトA	重要度 高	📅 4月1日	3月24日 ✅ 完了
サイトB	重要度 高	📅 6月1日	5月30日 未着手
サイトC	重要度 低	📅 5月1日	3月24日 診断見送り

すべての診断の状況を可視化

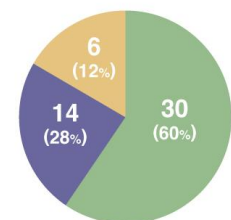


期間 ▼ プロジェクトグループ ▼ プロジェクト ▼ データを CSV でエクスポート

診断完了率

60%

30/50
完了/目標

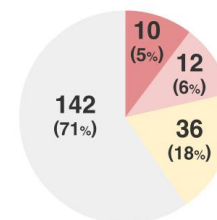


完了 対応中 未対応

検出された
深刻な脆弱性

11%

22/200

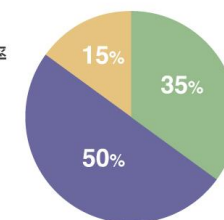


Critical High Medium Low/Info

脆弱性対応率

35%

70/200
完了/検出



完了 対応中 未対応

組織全体の診断完了率や脆弱性対応率が
ダッシュボードで一目でわかる



管理の手間を削減しながら、未着手の診断や対応の遅延を早期発見できる状態を実現します

セキュリティガバナンスの維持を支援！

診断の運用標準化

あらかじめ設定したポリシーに基づいて、診断要否や対応判断を自動的に提示



自社所有のガイドライン文書から
生成AIが自動で設定！



セキュリティ部門

① 対応方針を
インプット

AeyeCopilot

Yes／Noで答えていく簡単方式

② サイト・開発状況など
アンケートに回答

③ 自社ポリシーに沿った
診断の要否判定



事業／開発部門

ガイドライン確認・問い合わせ不要！
診断が必要か否かがすぐわかる

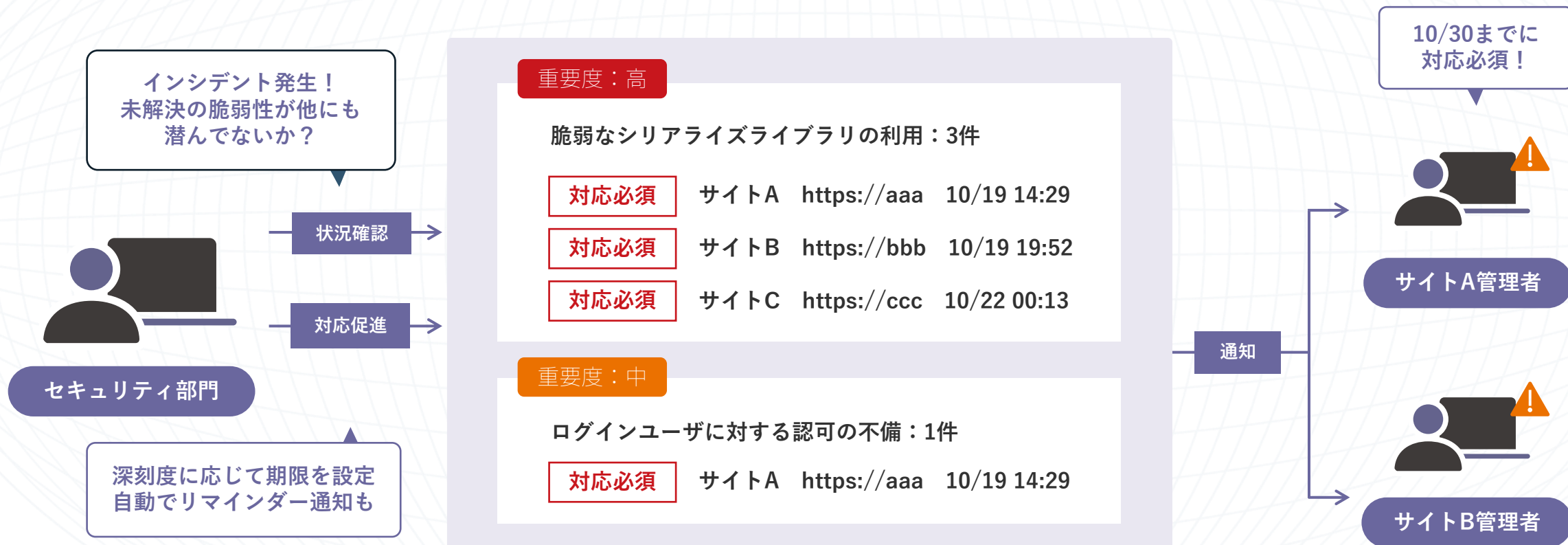


担当者の経験や知識に依存しない、組織全体で一貫したセキュリティ運用を実現します

属人化しがちなリスク管理を仕組み化！

脆弱性管理の実現

組織全体に潜む「未解決の脆弱性」を可視化、**状況確認から対応の促進まで**を支援



組織全体のセキュリティリスクを正確に把握し、セキュリティ教育にも活用することができます

コミュニケーションの非効率を解消！

診断に関するやり取りをシステム内で完結

情報システム部門



現状

“誰”に“どの手段”で
問い合わせ / フォローしたらいい...？

事業／開発部門



この時間に診断したい！



この脆弱性で質問したい！



煩雑なコミュニケーションを減らし、
工数・ストレスを低減させます

部門間の連携強化

想定被害やビジネスへの影響も言語化

技術視点のレポート

データベースに対して不正な操作を行う
「SQLインジェクション」の脆弱性が検出されました。

ビジネス視点のレポート

日々10万人規模のユーザーが使用しているサイトで
顧客情報が窃取・漏えいする可能性があります。
顧客のプライバシー侵害や金銭的被害、信用失墜など
の深刻な二次被害が発生する恐れがあります。



経営層や事業責任者への“迅速”かつ“伝わる”
説明を、効率化・省力化することができます

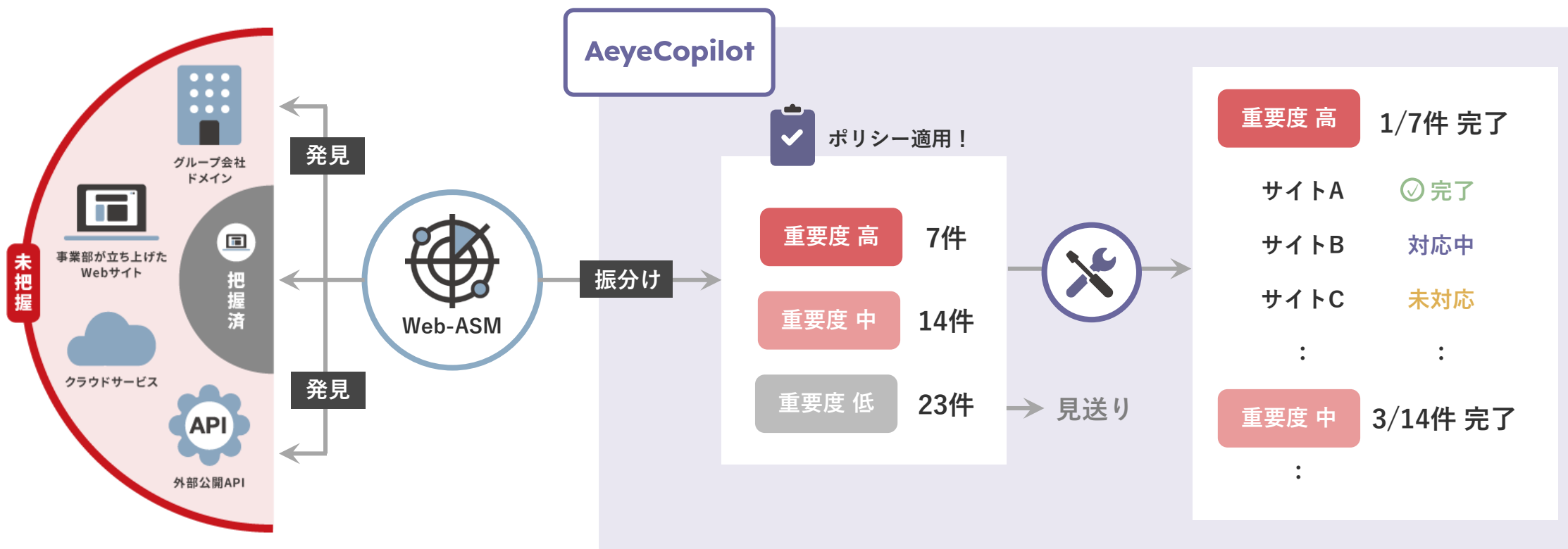
運用は楽に、セキュリティは強く AeyeCopilotで継続的な脆弱性管理を

発見・可視化

評価・分析

診断・修正

管理・報告



AeyeCopilotの導入を検討してみませんか？

お見積りの希望・導入をご検討している方へ

AeyeCopilot お問い合わせ

お見積りの希望・導入をご検討してくださっている方は
お問い合わせフォームよりご連絡ください。
当日もしくは遅くとも翌営業日にはご連絡を差し上げます。

お問い合わせフォーム



特に操作性・品質が気になる「脆弱性診断」は、無料トライアルでお試しを！

AeyeScan お問い合わせ

無料トライアルの申し込み



| 会社概要

AeyeSecurityLab

セキュリティに
「あらたな答え」を提供し続ける
プロ集団

商号	株式会社 エーアイセキュリティラボ		
役員	代表取締役社長	青木 歩	
	取締役副社長	安西 真人	
	取締役	杉山 俊春	角田 茜
	執行役員 CTO	浅井 健	
	執行役員	関根 鉄平	
事業内容	情報セキュリティ関連事業（調査・コンサルティング） クラウド型Web診断サービス「AeyeScan」提供		
設立	2019年4月		
拠点	東京都千代田区神田錦町2-2-1 KANDA SQUARE 11F WeWork内		
資本金	1億円		
従業員数	55名		
Webサイト	https://www.aeyesec.jp/		
取得認証	情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS） ISMSクラウドセキュリティ認証（ISO27017） 情報セキュリティサービス基準適合サービスリスト		



IS 752963 /
ISO 27001

CLOUD 790050 /
ISO 27017 023-0026-20



AeyeSecurityLab

あらたな答えを、つぎつぎと。